



# みんなで家庭教育!

## 私もこんなふうに大切に育ててもらったんだな…

夏休み中の中高生を対象に、4か月健診や7か月相談を受けにみえた親子に協力してもらい、赤ちゃんふれあう「ドキドキ赤ちゃんふれあい体験」を行いました。今年度は4回開催し、37名の生徒の皆さん(中学生22名 高校生15名)が参加してくれました。赤ちゃんの愛くるしさに感動していた生徒さん、お母さんから子育ての喜びと大変さを教えてもらった生徒さん、助産師や保育士など将来の夢を見据えて赤ちゃんをあやしていた生徒さん。わずかな時間でしたが、参加してくれた生徒の皆さんは、赤ちゃんやその保護者の方と積極的に関わり、「命を育む」ことについて多くのことを学んでくれました。



### ドキドキ赤ちゃんふれあい体験の様子



**講義 第一部** 保健師から、赤ちゃんの成長と特徴についてお話を聞きました。その後、赤ちゃん人形を使って抱っここの練習をしました。サポーターの保育士さんから、丁寧に赤ちゃんの抱き方を教えていただきました。



生まれたばかりの赤ちゃんは約3000グラムです。1年後には3倍の約9000グラムまで成長します。



赤ちゃんは成長するにつれて、運動機能も発達していきます。成長カードを並び替えて考えてみました。



首に手を添えて抱っこすると、安定することが分かりました。

**赤ちゃんとのふれあい** 実際に4か月健診、7か月相談に来てみえた親子さんと対面し、赤ちゃんふれあいました。お母さんたちにも質問をし、子育てについてのお話を聞きました。



赤ちゃんをたくさん抱っこしました。



お母さんのお話もたくさん聞かせていただきました。



絵本の読み聞かせをしてあげました。

**講義 第二部** 生後5か月の赤ちゃんが食べる離乳食を試食しました。その後、体験の感想交流をし、妊婦体験もしました。



トトロで素材の味を生かした離乳食でした。



今回のふれあいから感じたことを発表しました。



妊娠時の体はとても重かったことが分かりました。

